



適正な防護柵設置率向上でサル出沒を低減！ ～豊岡市城崎町来日集落の取り組み～



地区の概要

全戸数	63戸
農作業従事戸数(家庭菜園含む)	55戸
専業農家	
農地面積	18.2ha
生産目的	ほぼ自家用
集落営農	無
生産組合	無



黄色は家庭菜園のある場所

コウノトリも飛来する豊岡市城崎町来日は円山川の左岸に位置し、この付近でもっともサルがよく出沒する集落でした。その原因の一つは無防備な家庭菜園が多いこと。センターモデル集落として、サル対策に取り組みました。

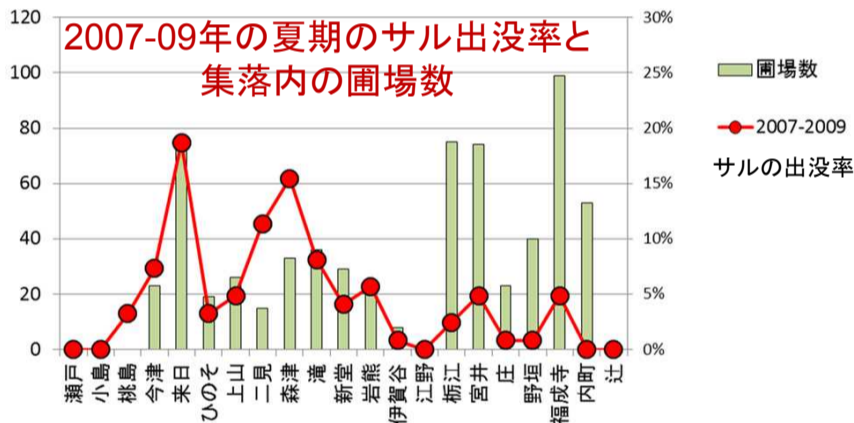
これまでの対策

- 2008年
 - 森林動物研究センターサル対策モデル集落として取り組み開始
 - 学習会
 - 追い払い研修会
 - 電気柵モデル設置
- 2009年
 - 但馬県民局集落ぐるみの被害対策モデル事業活用
 - 学習会
 - 既設の電気柵点検
- 2011年
 - 他集落も含めた電気柵設置研修会を来日で開催(2011・2012年)

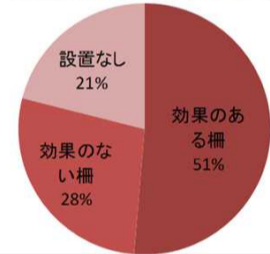
適正電気柵の設置率向上
追い払い実施率向上

ここに注目！

来日集落にサルの出沒が多い原因は、**集落内に無防備な菜園が多いこと**にあった！



来日地区における適正なサル用柵の設置率(2011年)



学習会・研修会

3年間で、計7回の学習会・追い払い実習・電気柵設置研修会を繰り返し実施しました。



電気柵のモデル設置

サルに有効な電気柵のモデル設置を5圃場で行い、効果を確認しました。



既設電気柵の点検

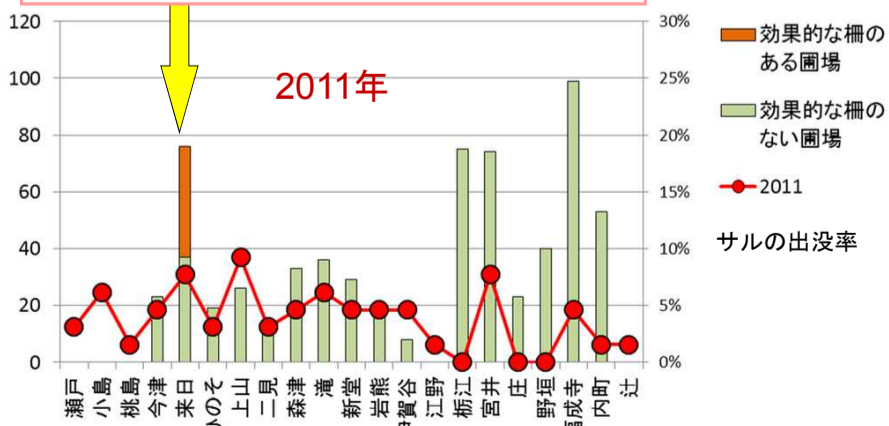
既設電気柵を総点検し、機能UPを図りました。



学習会や検討会を重ね、適正な電気柵設置率を高め、無防備な菜園を減少させることに成功！

成果について - 森林動物研究センター調査 -

菜園の被害時期(夏期)に集落に群れが来る回数(率)が低下した！！



センター講評

来日地区は深い谷合の集落で、サルが接近しやすい林縁付近に、無防備な家庭菜園が多くあることが、主な被害時期である夏期の出沒要因であることが、予想されました。繰り返し行った集落での学習会や研修会、電気柵のモデル設置により、適正に設置した電気柵の効果がだんだんと集落全体で認識されるようになり、ここ数年で一気に有効な電気柵の設置が推進されています。その結果、最近ではサルの出沒率が減少したり、滞在時間が短くなるなどの効果が地元でも認識されています。

